

12 戸隠森林植物園の木道整備

北信森林管理署 主任森林整備官 ○長屋 憲明

1. 課題を取り上げた背景

「レクリエーションの森」のうち、特に魅力的な自然景観を有する等、観光資源として活用が期待される個所を平成 29 年 4 月「日本美しの森 お薦め国国有林」として全国 93 箇所、その一つに北信署の「戸隠・大峰自然休養林」が選定されました。しかし、当休養林内にある戸隠森林植物園の木道は老朽化が進行しており、利用者の安全・安心の確保が難しくなっている状態となり、通行止めの措置を余儀なくされました。

既存施設のレベルアップにより、利用者の利便性を図るため、企業や NPO 等多様な主体の参加を得て、「レクリエーションの森」の整備・管理を進めるためのサポーター制度の活用について取り組みました。ちなみに、「日本美しの森 お薦めの国国有林」での公募によるサポーター制度の活用は、全国で初めてとなります。

2. 取組の経過

令和元年 6 月 10 日に戸隠大峰自然休養林保護管理協議会（会長：長野市長）とオフィシャルサポーター協定を 4 社と締結しました。

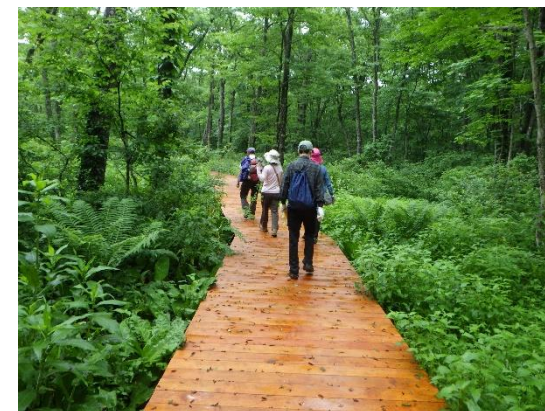
令和 2 年 2 月に国により第一及び第二期区間（計約 540m）の木道が撤去され、3 月に同区間について、長野市と歩道敷の貸付契約を結びました。

3. 実行結果



オフィシャルサポーター協定締結式

令和 2 年 3 月末に第一期区間に使用する資材がサポーター（コシイプレザービング）より現地に搬入され、4 月 3 日にサポーター（長野林業土木協会北信分会）と、戸隠観光協会・長野市・北信署から、総勢約 50 名が参加して、この日一日で床下の土台（根太・大引き）



第一期区間木道整備後

の設置を予定区間の 3 分の 2 程度、床板の貼り付けを 20m 程度完成させました。

その後、戸隠観光協会員を中心に地道に床板の貼り付け等を行い、4 月 20 日には第一期予定区間全てが完成しました。

4. 考察

今後は、令和 3 年 3 月予定で第二期区間（約 330m）の作設を行うとともに第三期区間の木道撤去と長野市との貸付契約を行い、令和 4 年度末には全ての区間の改修を完了する予定です。また、当休養林内を周遊する歩道やバイオマストイレ等についても老朽化が進行していることから、国による整備・管理については、必要性や緊急性を勘案しながら重点的かつ効果的な対応となるよう留意し、地域管理方式へ移行することについて地元市町村と検討を進め、戸隠大峰自然休養林保護管理協議会内に設置した「戸隠森林植物園整備部会」と改修整備を行いたいと思います。

なお、オフィシャルサポーターの 4 者は次の方々です。
 (株)コシイプレザービング・(一財)日本森林林業振興会長野支部・長野林業土木協会北信分会・(株)八十二銀行 以上です。